

当院は**安全・安心**な**放射線診療**を提供します。

病気の診断・治療や経過観察には、放射線を使った画像診断検査が有用です。放射線診療に関する不安や御相談等ありましたら、お気軽にお声かけ下さい。

◎ 放射線を安全、且つ有効に活用するためには

放射線検査の**正当化**

検査で得る情報の便益が、放射線被ばく等のリスクを上回ると考えられる場合のみ、放射線検査の実施をご案内しています。

放射線防護の**最適化**

放射線診療における最適な画像を得るため、適正な放射線量を管理・設定するとともに、放射線被ばく線量の低減に努めています。



放射線が身体に与える影響

- 私たちの身の回りには日常的に放射線が存在し、知らず知らずのうちに放射線を受けています。宇宙や大地から受ける自然放射線、食物や空気中の放射線などがあり、日常生活において放射線被ばくをゼロにすることはできません。
 - 放射線による人体への影響には、がんや白血病などの「確率的影響」と脱毛や皮膚障害等の「組織反応（確定的影響）」があります。
これらの症状は、非常に多くの放射線が人体に照射された場合に起こる稀な症状です。
 - 病院で行う放射線診療（放射線検査）では、一部の治療を除いて、身体に放射線の影響が現れるようなことはありません。
身体に放射線の影響が現れることが予想される放射線診療（治療）等を行う場合は、事前に十分な説明を行いますので、ご安心ください。
- ◎ 当院の放射線を使用する放射線診療（検査）は次のとおりです。
- ・ 一般撮影 ・ 歯科撮影 ・ 乳房撮影 ・ X線透視検査 ・ CT検査 ・ 核医学（RI）検査
 - ・ 血管造影検査、画像下治療（IVR） ・ 心臓カテーテル検査、画像下治療（PCI）
 - ・ 放射線治療及び治療計画に係る検査 ・ 一部の内視鏡検査
- ◎ **当院の最適化**への取り組み
- ・ 患者被ばくの適正化の指標である「診断参考レベル DRLs2020」を基準とし、極力、放射線被ばく線量を軽減するように撮像条件（放射線量）などを決定しています。
 - ・ 被ばく線量や撮像条件は、定期的な最適化の評価と最適線量の見直し等を実施しています。
 - ・ 医療安全管理の観点からも医療放射線の安全利用の体制整備に努めています。

当院では、**放射線検査の正当化及び防護の最適化**を図るとともに、**良質で高度な医療の提供に努めております。**
安心して検査を受けてください。